

- 問1 平安時代中期に藤原道長が摂政に就任したことで全盛期を迎えた、藤原氏が天皇の代理や補佐として実権を握る政治形態を何といいますか。
(2017年 沖縄公立入試 類似)
1. 摂関政治 2. 院政 3. 幕府政治 4. 親政
-
- 問2 平安時代の中期には、遣唐使の廃止などを背景として、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達しました。この時期、漢字を簡略化した「かな文字」を用いて紫式部によって執筆され、当時の華やかな貴族社会の様子を題材とした物語文学を選んでください。
(2016年 和歌山公立入試 類似)
1. 源氏物語 2. 枕草子 3. 平家物語 4. 万葉集
-
- 問3 11世紀後半に白河上皇が「院政」を開始した背景や目的を説明したものとして、最も適切なものを選択してください。
(2017年 佐賀公立入試 類似)
1. 藤原氏などの摂関家が代々実権を握る政治を抑え、天皇家の主導権を取り戻すため。 2. 平清盛ら武士の勢力を抑えるために、東北地方の蝦夷と手を結んで軍事力を強化するため。 3. 足利義満が行った日明貿易に対抗し、天皇自身が中国（宋）との直接貿易を行う権限を得るため。 4. 平京城から平安京への遷都をスムーズに進めるために、仏教勢力の政治介入を排除するため。
-
- 問4 10世紀後半、唐が滅亡した後に続いた分裂状態の中国を再び統一し、日本が平安時代の頃に栄えた王朝を何というか、名称として正しいものを選びなさい。
(2019年 埼玉公立入試 類似)
1. 宋 2. 元 3. 明 4. 隋
-
- 問5 平安時代末期、武士として初めて太政大臣の位にのぼり、自身の娘を天皇のきさきにすることで政治的な実権を握った人物は誰か。
(2014年 沖縄公立入試 類似)
1. 平清盛 2. 藤原道長 3. 源頼朝 4. 足利尊氏
-
- 問6 平安時代末期、平清盛は武士として初めて、朝廷における最高職である官職に任命されました。その官職名を次の中から選びなさい。
(2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 太政大臣 2. 征夷大將軍 3. 関白 4. 執権
-
- 問7 平清盛を中心とした平氏一門が政治の実権を握った背景には、皇室との密接な親族関係がありました。清盛の娘である徳子が、高倉天皇の妃として嫁ぎ、その間に生まれた子が幼くして即位しましたが、このとき平氏の繁栄を象徴する存在となった天皇は誰ですか。
(2020年 奈良公立入試 類似)
1. 後白河天皇 2. 崇徳天皇 3. 安徳天皇 4. 鳥羽天皇
-
- 問8 藤原氏が摂政や関白として朝廷の官職を独占した理由を述べた次の文章のうち、当時の政治の仕組みとして正しい記述を選びなさい。
(2017年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 天皇の外祖父（母方の祖父）という立場を利用して、天皇に代わって、あるいは天皇を補佐して政治を執り行ったため 2. 私地私民の原則を否定し、すべての土地を藤原氏の私有地として認める制度を確立したため 3. 太政官などの伝統的な役職をすべて廃止し、藤原氏の家臣のみで構成される新しい議決機関を作ったため 4. 地方を統治していた国司の任命権を天皇から完全に奪い、軍勢力を背景に地方政治を直接支配したため
-
- 問9 桓武天皇の時代に、東北地方に居住し朝廷の支配に抵抗していた「蝦夷」と呼ばれる人々を服属させるため、軍の指揮官として任命された人物は誰ですか。
(2024年 秋田県公立入試 類似)
1. 坂上田村麻呂 2. 源義経 3. 藤原清衡 4. 足利尊氏
-
- 問10 白河上皇が院政を開始した背景とその政治的目的について述べた文として、正しいものはどれですか。
(2017年 沖縄公立入試 類似)
1. 摂関家との血縁が薄い後三条天皇の即位により、藤原氏による専制が弱まったことを受け、上皇自らが実権を握ろうとした。 2. 平氏や源氏といった武士の力が強大になったため、それらを鎮圧するために天皇が退位して軍事権を握ろうとした。 3. 土地の国有化を進める班田収授法が機能しなくなったため、新しい戸籍制度を確立して律令国家を再建しようとした。 4. 仏教勢力の強まりに対抗するため、上皇は出家して法皇となり、寺院の武装化（僧兵）を完全に禁止しようとした。
-
- 問11 平安時代初期、朝廷の支配に抵抗する東北地方の蝦夷（えみし）を平定するために、坂上田村麻呂が任命された官職を何といいますか。後に鎌倉幕府や江戸幕府を開いた人物たちが、武士の頂点を示す称号として用いることになった名称を答えなさい。
(2015年 佐賀公立入試 類似)
1. 征夷大將軍 2. 摂政 3. 関白 4. 太政大臣
-
- 問12 894年に遣唐使の派遣が停止された理由として、当時の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2023年 大分県公立入試 類似)
1. 派遣先である唐の国勢が衰退しており、往復の航海も非常に危険であったため 2. 白村江の戦いで唐の軍勢に敗北したことにより、国交が途絶えていたため 3. 遣唐使の派遣が始まったことで、中国との外交ルートが新しくなったため 4. 唐が滅亡し、新しく宋（北宋）が建国されたことで交流の必要がなくなったため
-
- 問13 古今和歌集の編纂の中心人物であり、かな文字を用いた日記文学の先駆けである『土佐日記』の著者としても知られる人物は誰ですか。
(2022年 三重公立入試 類似)
1. 紀貫之 2. 山上憶良 3. 藤原定家 4. 紫式部
-
- 問14 平安時代の政治の変遷について述べた次の文のうち、白河天皇が行った政治体制の仕組みとして正しいものはどれですか。
(2024年 愛知公立入試 類似)
1. 天皇が位を退いて上皇となった後も、特定の役職に縛られずに政治の主導権を握った。 2. 藤原氏が娘を天皇のきさきに送り込み、その子供が天皇になると摂政や関白として政治を行った。 3. 源頼朝が征夷大將軍に任命され、守護や地頭を各地に配置して軍事や警察の権限を握った。 4. 唐の律令を模範とした法を整備し、全国に国司を派遣して土地と民を直接支配した。
-
- 問15 国風文化が栄えた平安時代中期、藤原氏などの貴族が居住していた建築様式について説明した文として適切なものはどれですか。この様式は、池のある広い庭園を囲むように建物が配置され、風通しを良くする工夫がなされているのが特徴です。
(2021年 岡山公立入試 類似)
1. 書院造 2. 寝殿造 3. 武家造 4. 高床建築